

図2

図と異なるタイプの製品も取付方法は同様です。穴開け手順については、右面に記載しています。

① 図1(上)を参照し、取り付けるドアのパックセット寸法(A)が、60mmと70mmのどちらであるかを確認します。パックセット寸法が70mmの場合は、ボルト上のスプリングピン(B)をつかみ、70mmに対応する溝に移動させてください。(右図参照)

② 図2を参照し、ラッチのタイプが#3の場合は、以下の手順に従ってください。
<ドライ-イ-ク>(押し込み式)のラッチ>カラーの穴の向きを合わせてラッチのボルトに通してキャッチピン(C)の位置までスライドさせ、カラーのピンホール(D)にキャッチピンをはめ込みます。注: カラーを外す時は、カラーの両端を強くつまんで引抜いてください。
<フェイスプレート付のラッチ>
(1) パックプレート(E)にラッチボルトを挿入し、(2) ボルト上で好みのフェイスプレートとめ合わせます。

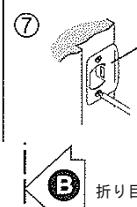
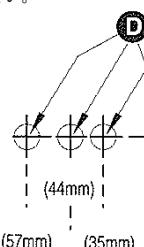
③ アの閉まる方向にラッチの斜めになっている側(F)が向くように、ラッチを取り付けます。(押し込み式)のラッチをはめ込む際は、ハマを直接当てず、木片の上から押込むようにして下さい。

④ (1) ラッチのドア側面に突き出している部分を押しこれ、(2) ステム付レバーを取り付けます。注:(先端の)ネジを外さないでください(厚板ドア用の長いネジに交換する場合を除く)。

⑤ 組立済みの室外側レバーを、ロックがかかっていない状態でドアに密着させ、(1) 半月形スピンドル(H)とネジの列にレバーの向きを合わせます。<ドライ-イ-ク>または鍵付のタイプは、つまみ(I)を回転させ、円形のロックスピンドル(J)と台座の穴を正しく合わせます。
(2) 台座をゆっくりと押し、ネジの頭が触れたら反時計回りに回転させてネジを台座に通し、ドアに当たるまで押し込みます。
(3) 台座を逆回り(時計回り)に回転させ、台座の裏の溝にネジをかみ合わせます。
(4) ネジを締めます。(注: 場合により定期的に締め直す必要があります)。(5) 台座にカバーをつけます。

⑥ カバーをつけた室内側の台座に、レバーを取り付けます。(K)図を参照し、レバーの向きが正しいことを確認したら、固定ネジをレンチ(L)で締めてレバーを固定してください。(注: 固定ネジは時計回りに回すと締まり、反時計回りに回すとゆるみます)レバーの向きが違う場合は、室外側のレバーと交換してください。レバーを取り外すには、固定ネジをレンチ(L)でゆるめ、レンチを離し、レバーをスライドさせます。鍵付のタイプの室外側のレバーを外すには、室内側のロックを解除し、固定ネジの穴にレンチの長い方を深く差し込んで固定ネジをゆるめてから、レンチを抜いてレバーを外してください。レバーを正しい向きに取り付けたら固定栓をレンチで締めてください。

⑦ スライクプレート(M)を取ります。ラッチとストライクプレートのかみ合わせが適当でない場合は、タン(N)を調節すると改善できます。
注: ラッチの小ボルト(O)がストライクプレートの穴に入り込むとロックが適切にできなくなります。必要に応じストライクプレートの位置を調節してください。

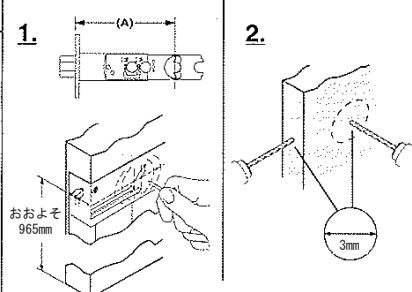


(A)= パックセット 60mm
(A)= パックセット 70mm

ドアの穴開け

1. ラッチはパックセット寸法に合わせて2種類のサイズに調節ができます。パックセット寸法は、60mmと70mmのどちらか適当な方を選んでください。テンプレートの折り目(B)をドアのコーナーに当てる。床から60mmの高さに中心線を合わせます。選択したパックセット寸法(A)に対応するドア正面の穴(C)の位置と、ドア厚に対応した側面の穴(D)の位置にマークをつけます。

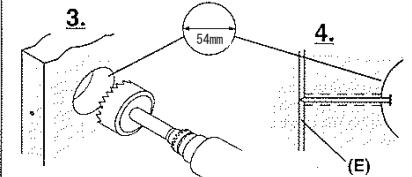
2. 1. でマークをつけた位置に、径3mmの下穴を開けます。下穴は、ドア正面は貫通させ、ドア側面は51mm深さにします。



3. 径54mmの貫通穴を開けます。

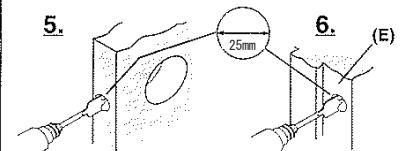
注): ドア表面の裂けを防ぐため、ドアの厚さの半分まで開けたら、残りの半分は反対側から開けます。

4. ドア枠に取り付けるストライクプレートの穴の位置をマークします。ドアを閉め、ドア正面の穴54mmの内側から、ドア側面の下穴に長さ51mmの釘を差し込み、ドア枠(E)に当たるまで押し込んで釘の先で跡をつけます。



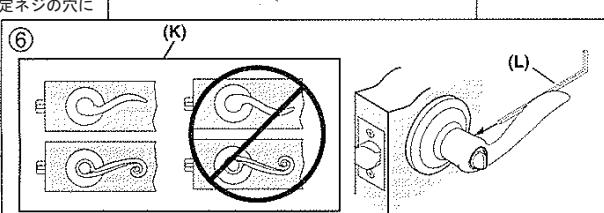
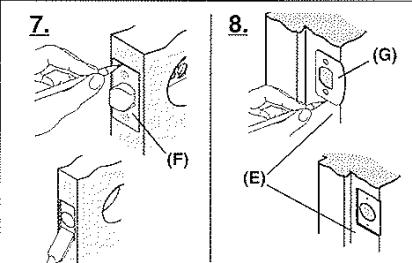
5. ドアの側面に径25mmの穴を開け、ドアの正面の穴54mmまで貫通させます。

6. ドア枠(E)に径25mm深さ16mmの穴を開けます。



7. ドアの側面にフェイスプレート(F)の付いたラッチをはめ込み、フェイスプレートの輪郭をドアの側面に描きます。内側を4mm彫り込みます。(フェイスプレートがないラッチにはこの作業は必要ありません)。取付ネジ用に、ネジの長さと同じ深さの径2mmの下穴を開けます。

8. ドア枠(E)に取り付けるストライクプレート(G)の位置を合わせて輪郭を描き、内側を1.6mm彫りこみます。取付ネジ用に、ネジの長さと同じ深さの径2mmの下穴を開けます。



TEMPLATE

注): このテンプレートは原寸ではありません。

使用不可! 別紙英文取説の原寸テンプレートを使用してください。